

# はじめよう経済学 小テスト

## 第11講 45度線分析(2)

次の問いに答えなさい。ただし、【 】内に「計算過程」と書かれている場合は計算過程を記入しなさい。

1. 次の文章中の括弧内に入る適切な語句を書きなさい。また、適切な語句を選ぶ場合には、正しい語句に○を書きなさい。

①  $Y - T$  を ( 可処分 ) 所得という。

②  $Y = C + I + G$ ,  $C = c(Y - T) + C_0$ ,  $T$ ,  $I$ ,  $G$  を定数とするとき、均衡国民所得  $Y^*$  は、

$$Y^* = \left( \frac{1}{1-c} (C_0 - cT + I + G) \right)$$

と書くことができる。

③ ②のモデルにおいて、 $-c/(1-c)$  を ( 租税 ) 乗数という。

④ 基礎消費  $C_0$  が増加すると、均衡国民所得  $Y^*$  は ( ○増加 / 減少 ) し、投資が減少すると  $Y^*$  は ( 増加 / ○減少 ) し、増税  $T \uparrow$  が行われると  $Y^*$  は ( 増加 / ○減少 ) し、公共事業が追加的に行われる ( $G \uparrow$ ) ことで  $Y^*$  は ( ○増加 / 減少 ) し、限界消費性向  $c$  が低下することで  $Y^*$  は ( 増加 / ○減少 ) する。

⑤ 減税や追加的な公共事業が実施されることを、拡張的 ( 財政政策 ) という。

⑥ 財市場均衡条件を  $Y = C + I$ , 貯蓄を  $S (= sY - C_0)$  とするとき、限界貯蓄性向  $s$  が上昇することで、 $Y^*$  は ( 増加 / 不変 / ○減少 ), 貯蓄  $S$  は ( 増加 / ○不変 / 減少 ) となる。このような状況を ( 貯蓄のパラドックス ) という。

2. 45度線分析において、 $Y = C + I + G$ ,  $C = 0.8(Y - T) + 15$ ,  $I = 25$ ,  $G = 20$  であるとき、次の問いに答えなさい。

(1) 租税  $T$  が 10 であるとき、均衡国民所得  $Y^*$  の値を求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.8(Y - 10) + 15 + 25 + 20 \rightarrow 0.2Y = 60 - 8 \rightarrow Y^* = 52 \times 5 = 260$$

$$Y^* = \underline{260}$$

(2) 租税乗数の値を求めなさい。

【計算過程】

$$\frac{-c}{1-c} = \frac{-0.8}{1-0.8} = -\frac{0.8}{0.2} = -4$$

$$\text{租税乗数} = \underline{-4}$$

(3) 租税  $T$  のみが 4 へと減少したとき、 $Y^*$  は(1)と比べてどれだけ増加するか求めなさい。

【計算過程】

$$Y = 0.8(Y - 4) + 15 + 25 + 20 \rightarrow 0.2Y = 60 - 3.2 \rightarrow Y^* = 56.8 \times 5 = 284$$

$$\text{よって, } 284 - 260 = 24 \quad [\text{別解}] \Delta Y = -4 \cdot \Delta T = -4 \cdot (4 - 10) = 24$$

$$\Delta Y = \underline{24}$$